

■日本フットケア技術協会（JAFTA）第12回総会■

日本フットケア技術協会の通常総会が2015年2月8日（日）に行われ全国から多くの会員の方が参加されました。研修委員会・広報委員会・衛生委員会・そして事務局からそれぞれ昨年度の活動報告と今年度の事業計画について議案が挙がり承認を受けました。各委員会の2014年度の活動は以下の通りです。

＜研修委員会＞

第18回研修会（テーマ「フットケアに必要な知識の向上」）の開催と第19回実技研修会（テーマ「フットケア外来見学」）の開催。

＜広報委員会＞

ホームページの更新。JAFTAアプローチツールQRコードの製作。ニューズレター17号・18号発行。JAFTAのPR活動としてISF、ビューティワールドジャパンの出展とデモンストレーションを実施。毎月1回台東病院でのフットケアボランティア活動。

＜衛生委員会＞

「衛生管理ガイドライン」の所持・遵守の定着化。衛生管理基準認定証の所持・推進。2015年1月31日現在、所持会員24人。「正しい手洗い方法の手順」の掲示を奨励するため全会員に配布。

＜事務局＞

フットケア技術者と医療との連携強化。連携受諾医師会員26名。13名新規会員獲得、賠償責任保険の加入のすすめ。1年間有効の会員証の発行。新規入会時の時期により年会費を減額する年会費特例制度の導入。



■第19回研修会報告■

第12回総会に引き続き第19回研修会が同じ会場で開催されました。テーマは「フットケア治療の見直し-再発防止について」で以下の4題の演目について講演がありました。

1. フットケアについて最近思うこと 倉片長門先生
2. 鶏眼・胼胝患者の歩行上の問題点 田中佳紀先生
3. 陥入爪患者の歩行上の問題点 岡 師明先生
4. フスフレージャーの視点から見た再発防止の工夫 藤井恵 先生

以上、そのほかに「施設の感染対策の重要性-環境衛生除菌洗剤（ルビスタ）の有用性」についてメーカーの方から説明されました。その後衛生管理基準認定書の授与がなされ北海道のアルファ美輝の木田倫子様認定されました。

終了後には懇親会が行われ参加された皆様で分け隔てなく触れ合いました。

